

みんなが待ってた！ 祭りと花火

益城町みんなの秋祭り 2025

益城町みんなの秋祭り 2025 が 10 月 25 日、町総合運動公園で開催されました。当日は 10 月とは思えないほどの陽気となり、およそ 1 万人が詰め掛けた会場では、半袖や浴衣姿の来場者も多く見られました。

多数の出店やバラエティー豊かなステージイベント、総踊り、そして夜空を彩った 5 千発の花火が祭りを盛り上げました。その熱気あふれる様子の一部をフォトレポートでお届けします。

① 浴衣姿で仲良く来場 ② 来場者や町内団体・企業が参加した総踊り ③ 木山中・益城中吹奏楽部合同の演奏 ④ ワールド極真会館熊本支部益城道場の道場生による試割り ⑤ 司会は復興大使・今吉めぐみさん ⑥ スタジオ W ダンスサイト★リーのキレのあるダンスパフォーマンス ⑦ 賞品を巡って白熱したラムネ早飲み競争 ⑧ ステージを見守る観客 ⑨ 音楽とシンクロして打ちあがる花火



辻の城団地自治会は 11 月、コミュニティー無線放送システムを整備しました。これは、宝くじの受託事業収入を財源とする一般財団法人自治総合センターの社会貢献広報事業を活用したものです。このシステムの導入により、地域の情報発信・共有のさらなる活性化が期待されます。



Pickup Plus +
今月のプラス

老若男女 木瀬部屋力士と触れ合い

こども相撲教室・木瀬部屋力士ひろやす荘慰問

11 月 2 日、第 3 回阿蘇くまもと空港周辺こども相撲教室が、町民グラウンド相撲場で開催されました。

益城町・大津町・菊陽町・西原村の年中から小学 6 年生約 60 人の勝ち抜き戦やかかり稽古に加え、今回は観客の大人たちのかかり稽古も実施。相撲ファンの大人たちが宇良関や美ノ海関に押し出されたり、軽々と持ち上げられたりする様子に、会場が沸きました。

また、力士たちはひろやす荘を慰問し、握手やサインに応え入所者たちと交流しました。



⑤宇良関を押し出し⑥ひろやす荘入所者と握手する美ノ海関

百歳おめでとうございます

やす おくにしげ 田中の安尾國重さん

安尾國重さん(大正 14 年 11 月 10 日生まれ)が 100 歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

大学教授から「医者になれる」と太鼓判を押されたほど、健康への探求心が旺盛な安尾さん。今も守り続けている長寿の秘訣は、母の教えである「毎朝お茶を 3 杯飲む」と、十分な睡眠です。また、安尾さんは農業大学校の設立に尽力し、自ら教授として教壇に立つなど、果樹栽培の分野に貢献。果樹への愛情は今も変わらず、食後の果物を欠かさないことも、健康の秘訣なのかもしれません。



表彰状を受け取り、笑みをこぼす安尾さん

町の復興支援で恩返し

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

11 月 11 日、町は企業版ふるさと納税により寄付を頂いた(株)タケダコーポレーション(熊本市)に感謝状を贈りました。

今回の寄付は、災害に強いインフラ整備や地域を結ぶまちづくりの支援など創造的な復興を目指す「熊本地震からの復興推進プロジェクト」に賛同したものです。

感謝状を受け取った武田匡弘代表取締役は「私たちが社会から頂いた浄財を、町の財政にお役立ていただきたい、そんな恩返しの意味を込めました」と述べました。



西村町長から感謝状を受け取った武田代表取締役



Pickup Plus +
今月のプラス

7 月 26 日と 10 月 18 日の 2 日間、町管工事業協同組合と青年部の皆さんによる水道施設の除草作業が行われました。この活動は、安全な水道水を届けるという使命の下、施設環境を維持するために同団体が毎年実施しているボランティアです。会員の皆さん、厳しい暑さの中での長時間の作業、本当にありがとうございました。